

第33回 印刷年始会

と き

平成23年1月21日 17:00~

と ころ

城山観光ホテル ロイヤルガーデン

開催事務局



鹿児島県印刷工業組合

第33回 印刷年始会

司会 月野 るり子

開 会

国歌斉唱

主催者あいさつ……………鹿児島県印刷工業組合理事長 岩重 昌勝

来賓紹介

祝 辞……………鹿児島市長 森 博幸 様

祝 演……………音楽工房 彩 (いろいろ)

朝花節(永 志保のみ)
よいすら節(永 志保&バイオリン&ピアノ)
童神(永 志保&バイオリン&ピアノ)
安里屋ユンタ(永 志保&バイオリン&ピアノ)

開 宴

ご挨拶と乾杯……………日本銀行鹿児島支店支店長 長井 滋人 様

中 締 め……………鹿児島県印刷工業組合副理事長 前田 幸一

※お願い/乾杯のあと15分ほど、席を立たれないようお願いします。

国際

- 1位 北朝鮮が韓国・延坪島砲撃
- 2位 チリ鉱山事故33人生還
- 3位 北朝鮮後継に金正恩氏
- 4位 中国経済 世界2位に
- 5位 欧州財政危機が拡大
- 6位 劉曉波氏にノーベル平和賞
- 7位 米中間選挙で民主党敗北
- 8位 「通貨安」競争が激化
- 9位 メキシコ湾原油大量流出
- 10位 中国胡錦濤氏後継に習近平氏

2010年国内外10大ニュース

国内

- 1位 尖閣漁船衝突・ビデオ流出
- 2位 参院選 民主が大敗
- 3位 特捜検事らを逮捕
- 4位 普天間移設迷走 鳩山首相が退陣
- 5位 宮崎で口蹄疫29万頭殺処分
- 6位 観測史上最高の猛暑
- 7位 小惑星探査機「はやぶさ」帰還
- 8位 所在不明の高齢者続々判明
- 9位 ノーベル化学賞に日本人2人
- 10位 円高進行、15年ぶり高水準

南日本新聞より抜粋(2010年12月29日)

NEW YEAR MEETING 2

年 頭 挨拶

団結と新たな印刷技術で、
業界のさらなる飛躍を！

鹿児島県中小企業団体中央会
会長 岩田 泰一



来賓ご芳名

- ◇ 鹿児島県 商工労働水産部次長 秋元 幸壽 様
- ◇ 鹿児島市 市長 森 博幸 様
- ◇ 鹿児島市 企業振興課長 麻井 文博 様
- ◇ 日本銀行鹿児島支店 支店長 長井 滋人 様
- ◇ 株式会社商工組合中央金庫鹿児島支店 支店長 藤波 靖夫 様
- ◇ 株式会社日本政策金融公庫鹿児島支店 中小企業事業総括課長 古屋敷 誠 様
- ◇ 鹿児島県中小企業団体中央会 副会長 肥後 勝司 様
- ◇ 鹿児島県中小企業団体中央会 専務理事 沖田 健一 様
- ◇ 株式会社鹿児島銀行 代表取締役専務 岩切 格 様
- ◇ 鹿児島相互信用金庫 理事・営業統括部長 賦句 辰治 様
- ◇ 鹿児島信用金庫 理事・業務統括部長 坂元 次男 様
- ◇ 株式会社島津興業 顧問 島津 公保 様

※来賓ご芳名は順不同とさせていただきます。
尚、席図表にご出席者全員のお名前を掲載してございます。

平成23年の初春を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。
貴組合におかれましては、本県印刷業界の振興発展に対し大きく寄
与されていることに深く敬意を表します。

さて、昨年を顧みますと、行政刷新による事業仕分けの実施や管内
閣への政権交代、デフレの進行と15年ぶりの円高水準、税収を上回る
国債発行など、我が国経済は不安定で、特に地方中小企業を取り巻く
経営環境は厳しいものでありました。

しかし一方では、6月に中小企業憲章が制定され、税制改正では、法
人税の実効税率が5%引き下げられるなど、経済の活力である中小企
業がその力を十分に発揮できる土台作りがなされた1年でもあったよ
うに思います。

印刷業界におきましては、「電子書籍元年」の起点の年を迎え、多く
のデジタルツールが誕生し、今後の印刷業界に与える影響は、少な
からずとも大きいのではないかと懸念されておりました。しかし、この「電
子書籍元年」の根底には、長い印刷業界の歴史の中で培った高い技術
力にその源があります。これまでの“印刷”技術をこれからの印刷業界
の更なる進化と発展の礎とし、新たなビジネスチャンスの創出に繋げ
て頂きたいと切望いたしております。

また、中央会は、昨年12月に創立55周年を迎えました。これも偏に、
会員の皆様方の暖かいご支援とご協力の賜物と深く感謝いたして
おります。

半世紀以上に亘る歴史の重みを再認識し、多様化する中小企業の要
請に的確に対応できるよう、従来の組合支援に加え、県下中小企業へ
の幅広い支援体制強化に努め、「時代の風に応える中央会」として、新
たな半世紀に向けて尽力してまいります。

結びに、本年が貴組合にとりまして、飛躍の1年となり、組合員の皆
様方のますますのご発展とご健勝を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と
いたします。

■友好参加者

- 医療法人聖心会高岡病院 院長 高岡 茂 様
- 畑野労務管理事務所 社会保険労務士 畑野 昌作 様
- 山下仁税理士事務所 税理士 山下 仁 様

ごあいさつ

鹿児島県印刷工業組合
理事長 岩重 昌勝



皆様、明けましておめでとうございます。
旧年中は組合事業に格別のご協力とご支援を賜り心より感謝いたします。
昨年を振り返りますと、世界的な気候変動に伴う自然災害、宗教間対立や独立を目的とした民族間紛争、各地で頻発する自爆テロ等、争いが絶える事がございませんでした。そして中国、インドを始めとする新興国の経済発展は環境破壊を招き、都市部と農村部の貧富の格差を一層進めるものとなりました。
国内に目を転じますと民主党政権となり閉塞した諸問題の打開を期待しましたが、沖縄の米軍基地移転に対する対応にみられたように解決どころか、より混迷を深めご存知のように糸口すら掴んでおりません。新年度予算の編成もままならず我々はあまりにも大きい代償を払ってしまったようです。
このようななかで我々印刷業会にも歴史的な一年となりました。「電子書籍元年」といわれ、Kindle・iPadに代表されるモバイル型の新しいデバイスが発表されました。これによりグーデンベルグの時代より情報の記録媒体であった「紙」から新しいプラットフォームへ移行が開始されます。この進化により、「印刷はその使命を終えた。」とか言う方もいらっしゃるかもしれませんが、「新たな使命の始まり」だと考えます。
色々な情報を様々な媒体に写すにせよ、正確且つ誰にも理解できる形に編集する作業は必要であり、管理するノウハウは一朝一夕には産み出せません。それらを担ってきたのが我々印刷業会であります。
今年は待望の九州新幹線全線開通となり新大阪まで直通となります。博多までが、小倉から中・四国・関西までフィールドが広がります。
千載一遇のチャンスです。先人の遺してくれた大きな「仕掛け」を我々が大きな成果に実らせる元年としたいものです。
組合員並びに関連産業の皆様にとって飛躍の一年となりますよう祈年してご挨拶といたします。

年頭所感

「勇気をもってトライ」

全日本印刷工業組合連合会
会長 水上 光啓



新年明けましておめでとうございます。旧年中は当連合会の運営に対し格別のご理解、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。
昨年は、民主党政権の外交および経済対策等に対する無策ぶりが露呈し、日本の国土をどう守るのか、日本の経済、企業をどう守るのかが問われる年であったと思います。また、電子書籍元年と言われるきっかけとなった携帯情報端末の普及、インターネットの天津波、電子出版など印刷業界を取り巻く環境も大きく変わりました。
2008年のリーマンショック以降、日本経済は先の見通せない難局が続いており、印刷業界も同様のことが言えます。そのような中、全印工連は昨年の中全日本印刷文化典in岐阜で、印刷産業の将来展望を開くべく「産業成長戦略提言2010ソリューション・プロバイダーへの進化」を発表しました。印刷産業界の将来像、これからの可能性と目指すべき進出分野等について提言できたことは、印刷産業の存在意義を改めて内外に示すとともに、各社の新たな成長戦略の指針として役立つことと思っています。
また、昨年は新たな、そして画期的な事業がスタートした年でもありました。それは「全印工連特別ライセンスプログラム」です。これまで、組合員の皆様に直接的なメリットを提供できる事業はほとんどありませんでした。事業を進めるにあたって全国各地で説明会を行い、多くの叱咤激励を頂戴しましたが、一貫して訴え続けたのは、各社のコスト削減、著作権侵害リスク軽減、社会的信用度の向上など、様々なメリットを提供することができるということでした。多くの組合員のご協力をいただき無事スタートすることができましたが、今回の事業は全印工連事業の新たなビジネスモデルになり得るものと考えています。
今年は兎年です。業態変革も「兎を見て犬を放つ(今から取り組んでも決して遅くはありません)」です。また、取り組むにあたっては、「脱兎の如し(すばやく取り組む)」が肝要ではないでしょうか。
全印工連は今年も、行動力あふれた組合を目指して、さまざまなトライをしていきたいと思います。組合員の皆様もクライアントにとって、社会にとって不可欠な、そして将来にわたって発展できる会社となるよう、足元の変化に応じて即実践できる業態変革事業に、より一層トライしていただきたいと思っております。
最後になりましたが、皆様、益々のご健勝と企業のご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



音楽工房「彩」IRODORIとは…
音楽にも、いろいろな「色」があります。
悲しい色、怒りの色、喜びの色、楽し
みの色…。
私達は、ジャンルを超えて、「音」とい
う、いろんな「彩」を音楽を通じて奏で、
表現し、発信していきたいと思っ
ております。
音楽工房「彩」主宰 満田昭人



MITSDA AKITO



SAINOHIRA MIWA



NAGAI SHIHO

満田 昭人 (ピアニスト/作曲家)

1987年、武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻入学。
卒業後、東京での活動を経て、地元鹿児島にてコンサート企画やプロデュースの他
に、鹿児島の企業のCMソング、TV・ラジオの番組曲も制作しており、作品数は50
を超える。演奏活動も全国各地で行い、NHK交響楽団のメンバーと共演する。
現在ピアニスト・作曲家、音楽工房彩(いろどり)主宰。
「W-piano」として、CD発売中。

音楽工房 彩(いろどり)
<http://www.irodori-music.com/>
W-piano <http://www.w-piano.jp>

斉之平 美和 (バイオリニスト)

武蔵野音楽大学器楽学科バイオリン専攻卒業。クラシックだけではなく多くの
ジャンルの音楽を手掛ける。鹿児島を中心に、プライダルやライブ等、精力的に活
動する一方、後輩の育成も行う。音楽以外にもミス日本という経歴もある。

永 志保 (唄者)

大島郡喜界町出身。中学1年生より、安田 宝英氏に支持。毎年5月に行われる奄美
民謡大会においては、優秀賞、新人賞など、受賞。
KTS主催の鹿児島県民謡王座決定戦にて、16年18年に青少年の部で、優勝。一昨
年からは、島唄のみならず、伝統を大事に、郷里の音楽をアレンジし、多くの方に親
しんでいただける新しい音楽活動を開始。

鹿児島県印刷工業組合

〒892-0847 鹿児島市西千石町12番31号
TEL 099-222-1839 FAX 099-223-1463
URL <http://www.kapia.jp> E-mail p-office@kapia.jp



鹿児島県産100%竹紙を
使用しています。